

## 第1回 中学校一校化検討委員会 会議録

- 日 時 : 令和6年10月1日(火) 19:00～20:30
- 場 所 : 潮来市役所 3階 第一会議室
- 出席者 : 別添名簿のとおり
- 議事録

### 1 開会

### 2 あいさつ 埴教育長

### 3 自己紹介

### 4 委員長・副委員長の選任

- 委員長 宮本 直之 (潮来第二中学校 PTA 会長)
- 副委員長 飯島 康弘 (潮来第一中学校 PTA 会長)
- 飯塚 正 (潮来第一中学校 PTA 会長)
- 小峰 謙一 (牛堀中学校 PTA 会長)

### 5 議事

#### (1) 第2期潮来市学校適正化計画について【事務局より説明】

- 計画の背景と目的
- 潮来市の小・中学校の状況と推計
- 小・中学校の規模及び配置に関する基準
- 小・中学校適正化の方向性の見直し
- 小・中学校の適正化方策
- 年次計画

#### (2) 中学校一校化検討委員会について【事務局より説明】

A 委員: 設置要綱の第2条に、統合時期について明記されています。検討委員会で時期を考えていくことは素晴らしいことだと思います。令和11年度の統合ありきなのか、また、どのようなプロセスで統合時期を決定したのか、そして、統合委員会のなかで時期を検討できるのかについて教えてください。

事務局: 第2期潮来市学校適正化計画を、令和5年度に策定しました。統合の時期につきましては、既存校舎の老朽化の程度や、生徒数の減少の度合い、生徒数が減少することによる様々な課題等のバランスを考慮しながら、当計画の策定委員会の中で令和11年度の一校化が最適と考え、当計画を策定しました。

B 委員:令和11年度の統合について、当委員会の中で検討した結果、学校適正化計画に沿わない結果となってもよいのでしょうか。

教育長:教育委員会としては第2期適正化計画に基づき、令和11年4月の中学校一校化を目標に進めていただきたいと思います。

C 委員:潮来市立小中学校統合等検討委員会設置要綱には一校化の文字が載っていませんが、この検討委員会と同じものですか。

事務局:今回の検討委員会に読み替えてください。

D 委員:今年度、検討委員会は何回開催する予定ですか。また、要望書については今年度と来年度、どちらで提出するのですか。

事務局:第2回検討委員会を令和7年1月から2月に予定しています。要望書は、次の会議で検討をお願いしたいと思います。会議は、全2回を予定しています。

E 委員:茨城県内で526名という規模の中学校は、どの程度の規模なのでしょうか。

教育長:参考ではありますが、神栖第二中学校と同じくらいの規模となります。神栖第二中学校には、近隣の中学校のなかでは比較的大きな学校になります。

事務局:必ずしも、(一校化した中学校は)大規模校ではないという認識です。

### (3)市内中学校の現状と課題について【事務局より説明】

○市内中学校の現状について

○課題及び検討事項について

一校化する中学校の校地(場所)は、すべての検討事項の根幹となることから早期の方向決定が必要である。また、校名について「潮来中学校(仮称)」としたい。

中学校一校化検討員会(検討事項)入力フォームに各団体意見の提出依頼(〆切は年内)

○各学校見学について

A 委員:計画を策定するにあたっての保護者アンケートの回収率が低かったと感じます。

現小学校1、2年生の保護者の意見の吸い上げ方が必要でないでしょうか。

事務局:確かに、アンケートの回収率は低かったと感じます。そのようなこと踏まえまして、6月から地区説明会、各小中学校での説明会を実施し、丁寧に説明をしてきました。

準備委員会(小学校、中学校)においても、対象者に対し丁寧にアンケートを実施しています。委員の皆様にはこれからの学校の在り方を議論していただきたいと思います。

B 委員:今年度に校地を決定して、要望書を提出するといったスケジュールなのですか。校地の決め方は、どのように進めるのでしょうか。

事務局:この検討委員会の中では、現地見学会などを参考にしながら3校のなかで、校地としてふさわしい場所についてのご意見をいただければと考えています。

E 委員:(校地として)各学校の適する部分、適さない部分があると思います。検討委員会として、意見を統一するのですか。また、新校舎を建設するという可能性はありますか。

事務局:検討委員会としての意見については、前述の通り、次回の会議での検討をお願いいたします。また、新校舎建設の予定はありません。

B 委員:繰り返しになりますが、みんなそれぞれ抱えているバックボーンが違います。意見を一本化するのには、工夫が必要ではないでしょうか。

事務局:(校地として)各学校には適する部分、適さない部分があります。優先順位をつけるのであれば、どの中学校になるのか整理してみなさんと議論をお願いします。また、当検討委員会の任期が年度末のため、当検討委員会で提出された意見を次年度の委員に引継がせていただきます。なお、当検討委員会で提出した意見については決定事項ではありません。学校見学に参加していただいて、各学校の概要について把握していただいた上で、優先順位などの意見を出していただきたいと思います。

潮来市立小中学校統合等検討委員会設置要綱には、「教育長に対し要望書を提出する」とありますが、どのような内容になるのかは、今後、委員の皆様と検討して進めていきたいと考えています。

D 委員:校地を検討する参考資料として、十番、永山、大賀、徳島などの地区から各中学校までの距離を示してほしいと思います。

事務局:第2回会議の際に、ご提示させていただきます。

A 委員:当面の間、中学校を2つに残す案はないのでしょうか。

C 委員:中学校一校化をベースに検討するのか、それとも、二校化を検討してもよいのでしょうか。

事務局:教育委員会としては、令和11年4月の一校化を目指していますので、中学校を2つに残す案はありません。中学校一校化検討委員の皆様にはおかれましては、ご理解ご協力をお願いいたします。

F委員：児童生徒数が減少することが前提なのですか。高速道路の延伸に伴う人口増は見越していないのでしょうか。

事務局：潮来市総合計画の確認を行います、今のところ人口増はないと考えています。

G委員：生徒数の推計は、市外の学校も含まれていますか。

事務局：生徒数の推計には、市外中学校への通学者約1割（令和5年現在55名）を含めています。

#### (4)今後の進め方について

##### ○体操服について

事務局：案ではございますが、令和6年度に制服の方向性を決定し、令和7年度から令和8年にかけて制服のデザインの検討を行いたいと思います。令和9年度から新制服を販売することで、令和11年度の統合時には全生徒の制服が切り替えることができます。

A委員：令和11年の一校化スタート時の制服は、3校それぞれバラバラで卒業時に揃うパターンもいいのではないのでしょうか。

事務局：そういったパターンもあります。統合時期が決まっているのであれば、それまでに準備するパターンもあると考えます。

C委員：事務局案に賛成です。全国的に、ジェンダー対応の制服の導入が始まっています。我慢している生徒がいる中で、できるだけ早く進めるべきだと思います。どのように進めるのかは課題だと思います。

事務局：統合準備委員会が中心で進めていきます。

#### (5)その他

### 6. 閉会